

さくらがわ

市議会
だより



つくば霞ヶ浦りんりんロードは、桜川市と霞ヶ浦を結ぶ全長約180kmのサイクリングコースです。2019年11月に国が指定するナショナルサイクルルートに指定されました。日本百名山である筑波山を横目に、自然豊かな風景とサイクリングを同時に楽しむことができます。市内に3か所ある休憩所の中でも大和地区にある雨引休憩所は、春になると一斉にソメイヨシノが咲き誇り、地元の人々や観光客に親しまれています。

令和4年度 決算認定

検証！ 市税の使い道

決算認定と総括質疑…②

一般質問…④

審議された議案と結果…⑦

委員会視察レポート…⑧

委員会報告…⑩

私のメッセージ…⑫



令和5年11月1日



当市ホームページの
市議会情報ページへ
アクセスできます。



令和4年度 決算認定

令和4年度
決算に関する

総括質疑

令和4年度決算案全体に対し、疑問や不明点を明らかにするため、市に説明を求めました。その中から、主なものを掲載します。

基金が100億円を超えたが、適正金額はいくらと考えるか

問 市の財政調整基金、減債基金、公共施設整備基金等、基金の合計は100億を超えており、人口一人当たりになると、23万円になる。この基金の積立については、現在工事中である上曾トンネルや生涯学習センターと図書館の複合施設、また、これから計画されている新庁舎建設工事等の財源として見込まれているためである。

市としては、これらの工事に対応し、財政が破綻しないように、基金の積立額が、どのくらい必要と考えているのか。

答 令和4年度末の一般会計基金残高は、財政調整

基金が43億5,000万円、減債基金6億6,000万円、公共施設整備基金34億6,000万円、その他の基金と合わせ合計102億5,000万円です。県内類似団体（人口・産業構造が似ている団体）と比べますと、一番多い常陸太田市の基金残高は一人当たり37万円、桜川市は4番目になります。

1位	常陸太田市	37万円
2位	稲敷市	33万円
3位	常陸大宮市	23万円
4位	桜川市	23万円
5位	小美玉市	19万円
6位	かすみがうら市	14万円

人口一人当たりの基金残高

令和4年度決算額 (万円未満切り捨て)

一般会計

歳入 236億5,683万円 歳出 217億2,823万円

特別会計

国民健康保険	歳入	47億1,555万円	歳出	45億4,240万円
介護保険	歳入	46億3,196万円	歳出	42億417万円
介護サービス事業	歳入	921万円	歳出	678万円
後期高齢者医療	歳入	4億8,607万円	歳出	4億8,425万円

水道事業会計

収益的収入	11億6,898万円	収益的支出	10億1,668万円
資本的収入	4,588万円	資本的支出	1億9,421万円

病院事業会計

収益的収入	5億4,370万円	収益的支出	5億5,080万円
資本的収入	1億6,685万円	資本的支出	2億3,962万円

下水道事業会計

収益的収入	10億2,173万円	収益的支出	9億6,643万円
資本的収入	2億8,826万円	資本的支出	5億4,888万円

市税の使い道

これからの大規模公共事業（複合施設整備事業、新庁舎建設等）に多額の費用を見込んでいます。4年後の令和9年度には、基金は約半分の51億円になる見込みです。

財政調整基金は、標準財政規模の15%程度です。桜川市で計算すると、金額は17億円以上になります。

市は、今後とも持続可能な財政運営を図ってまいります。

岩瀬工業団地進入路

問 この道路の完成はいつ頃になるのか伺う。

答 計画路線に軟弱地盤が見つかったこともあり、これから改良設計を進めていきます。

次年度以降に排水施設の用地取得を行います。それからの発注になります。また、県開発公社との連携も必要になります。具体的な工事の発注は調整中です。

桃山学園通学路整備工事

問 源法寺から桃山学園までの通学路整備工事の進捗を伺う。

答 令和7年の桃山学園と桜川中学校区3校の統合に合わせて整備完了する予定です。

源法寺からの通学路は完成していますが、一部開放しても危険性があるとのことで、通行止めになっています。

ワクチン接種助成

問 筑西・下妻医療圏内でワクチン接種助成の違いについて伺う。

答 筑西市と比較したところ、7種類の予防接種のうち、桜川市では「成人用肺炎球菌」と「带状疱疹」への助成を行っていませんでした。「成人用肺炎球菌」は、65歳以上を対象に、以降5歳刻みで定期接種するものです。

带状疱疹の予防接種は、

県内では筑西市をはじめ、4自治体が助成しています。

県内の自治体動向を注視し、助成ができるよう前向きに検討します。

桜川改修事業

問 桜川改修期成同盟会の活動による「桜川の改修状況」について伺う。

答 桜川で洪水があった翌年の令和2年度から、桜川改修期成同盟会の会長を筑西市から引き継ぎました。こうした活動もあり、桜川の改修に、毎年10億円以上の予算がついています。

真壁工区では、源法寺橋から樺穂橋間、大和工区では、羽田橋周辺の狭窄箇所が計画されています。

予防接種事業

問 予防接種事業で不用額が出ているものがあるが、どういう理由か。

答 子宮頸がんワクチンは、令和4年4月から接種勧奨が再開しましたが、接種の機会を逃した人も接種すると見込んだのですが、不安を持つ方もおり、接種者が予想を下回りました。

市の新型コロナワクチン接種者は、国・県の平均より多いのですが、当初の予定者を下回りましたので、不用額が出てしまいました。

ふるさと納税

問 市のふるさと納税で、人気のある返礼品ベスト5について伺う。

答 令和4年度の寄附件数で、人気のある返礼品ベスト5は、左表のとおりです。

1位	果物
2位	米
3位	野菜
4位	肉
5位	酒

メンタルヘルス関係業務委託料

問 この業務委託の内容と効果について伺う。

答 この業務委託料は、ストレスチェック業務及びメンタルヘルス業務の2つの業務があります。

ストレスチェック業務は、ストレスチェックにより高ストレス者と判断されたものは産業医との面談に繋がっております。

メンタルヘルス業務は、年間を通じたカウンセリング窓口の開設があります。電話・メール・面談による方法や委託先カウンセラーと直接対面で相談できる訪問カウンセリングもあります。

効果は、個人のストレスの状態を知ることにより、各種相談やカウンセリングを受ける等、職員の行動変容に繋がっていると感じています。

桃山学園、桜川中学校区
統合後の校歌について



林 悦子議員

問

「校歌」を決めるにあたっては、いつまでも子どもたちの心に残るもの、という姿勢で臨んでほしい。桃山学園と桜川中学校区（桜川中・樺穂小・谷貝小）の統合後の校歌は、どのように決めるのか、方針と流れについて伺う。

答

教育部長 学校統合で校歌を制作するには、2つの方法があります。
①既存の校歌をそのまま統合後の校歌とする。また、一部変更するもの。知られた校歌が生かされ、費用も抑える

ことができます。

②新たに制作する。誰にお願いするか、費用の問題、校歌に取り入れる言葉や曲調など、意見の取りまとめ、制作者との交渉など、作成に要する時間等々、多くの課題があります。

問

選択肢の中に、校歌を加えることを提案したいが如何か。私は、桃山中の卒業生ではないので、客観的な立場で考えられる。提案理由は、大きく二点。

①修正は、「中学校」を「学び舎」の一ヶ所で済む。1番に「桃山」、2番に「桜川」の両名がある。曲調は明るいト長調、一オクターブの8音符で構成され、歌い易い。

②白鳥省吾は、野口雨情（土浦小学校）、西条八十（下館一高校）に並ぶ、真壁町にゆかりのある偉人である。歴史と伝統をまちづく

りの理念とする桜川市にあつて、統合だからと、全て新しくするのはなく、校歌を歌い継ぐことも、私たちの在るべき姿ではないか。

③白鳥省吾・作詞、岩井清志・作曲の桃山中の校歌以上の出来栄の校歌は、新しく作ってもできないだろうと思つこと。

答

教育部長 桃山中の校歌も、検討対象のひとつになると考えます。

今後、統合準備委員会分科会で協議いたします。教育委員会としては、地域の資産や歴史・文化、将来の在り方を踏まえ、しっかりと対応していきたいと思

その他の質問

・市街地の防火対策

ひきこもり支援
推進事業について



武井久司議員

問

ひきこもり支援について、特化した専門的窓口（住民に身近なところで相談ができ、支援が受けられる）が創設されているか、これまでにひきこもりについての相談があつたか伺う。

答

保健福祉部長 ひきこもり状態の方は、令和4年度末で全国で146万人と言われている。市においても潜在的な「ひきこもり」と思われる方の相談件数が増加すると思われま

②保護者との連絡方法について伺う。
③子育て支援について、放課後児童クラブの利用状況について伺う。

答

保健福祉部長
①保育施設の統廃合については、児童数、出生数の減少は、今後も予想されます。また、園舎の老朽化も進んでおり長寿命化対策、新園舎建設についても社協と協議中です。

②通常、緊急時の保護者への連絡方法は、登陸園管理システムアプリで連絡しています。
③9つの小学校と義務教育学校の児童が利用しており、夫婦での就業が多くなっていることが理由と思われる。利用者数は増加傾向です。利用割合は、定員に対して平均で77.5%です。

子育て環境・教育について

問

児童の減少は、これからも続くと思われる。

①未就学児について、保育所等の統廃合はどのように考えているのか。保育所の長寿命化計画についてどのように進めるのか。

その他の質問

・くらしを豊かに住み続ける桜川にするため

「長方地区SCにベイシア 出店」について



菊池伸浩 議員

権取得の方法を説明していただき。開発許可権を取得するまでの時間はどれくらいなのでしょう。

問

8月9日、長方地区SC（シヨッ

ピングセンター）開発の3者協定（桜川市、開発業者「日計商事（株）」、（仮称）桜川SC出店テナント連絡調整会議「代表（株）ベイシア」）が結ばれたとの報告がありました。
（株）ベイシアといえば、関東近県に130店舗をもつ企業です。実現すれば喜ばしいが、心配な点もあります。そこで、4点質問します。
日計商事（株）は、まだ開発許可権を持っていません。開発許可権の性格と開発許可

答

総合戦略部長（株）ベイシア

以外にも複数のテナントの出店が予定されていますが、（株）ベイシア以外の報告は受けていません。

問

協定期間は、2年間となっています。この期間で十分なのでしょうか。

答

建設部長 桜川市土地基本条例

に基づき届け出を提出し、同意を得たうえで、開発申請をします。申請後は、担当課の審査に適合していれば開発許可が受けられます。

問

このSCには、加波山市場を出店

するとの声を聞いていますが、どのような考えでいるのでしょうか。
現時点では、事前相談は受けていませんので、開発許可を受けるまでの時間はお答えできません。

答

総合戦略部長 長方地区SC内に

設置予定の直売所は、現在、検討しています。

問

（仮称）桜川SC出店テナント

連絡調整会議」にはどのような会社が入っているのでしょうか。

桜川市の学校運営 協議会制度について



市村 香 議員

める事項について、課題解決や、特色ある学校づくりに必要な意見の申し出。
等の機能があります。

問

文科省は、地域と二体となって子どもたちを育む地域と

共にある新たな学校づくりを推進している。
桜川市の学校運営協議会制度について伺う。

答

教育部長 学校運営協議会は、

学校と地域住民が一体となって運営に参加し、意思決定を行う合議制の機関で、主に

問

市の地域学校協働活動事業の内容を伺う。

答

教育部長 地域と学校が協力して行う活動の企画計画

や連絡調整で、人材バンクを設立しましたので、バンクに登録して協力していただきたいと思っています。

地域の学校づくりについて

問

ジオパークが扱

う地域資源は、人、自然、大地とある。課題は、学校教育との連携が挙げられ、小中学校で出前授業の実施など、多様な在り方が

答

経済部長 現在、

サイトの見直し、学校教育との連携、多様なジオツーリズムの在り方の検討について取り組んでいるところです。

問

桜川市が考える「じおがく」について伺う。

答

経済部長 出前授業、座学や筑

波山地域、ジオパークを直接訪れて学習する学習支援プログラムのことを言います。

問

市内には、平沢

地区、磯部地区、その他、里山を保全対象として明確化し、地域住民で保全出来るようにしている事例がある。各地域での新たな資源の発掘が必要だと思いが如何か。

答

経済部長 桜川

市の魅力ある地域資源が活用できるように、関係機関と連携し検討してまいります。

富谷観音

観光名所への取組み



飯島洋省 議員

問

旧参道を花いっぱい運動の一環として予算を確保し、紫陽花を植樹し、梅雨の時期の誘客に向けて雨引観音と運動した整備を行うなど、新市都市計画に従い、流動人口の増加のための事業を検討していく考えはないか伺う。

答

経済部長 富谷 観音周辺は、農林課並びに商工観光課において、富谷ふれあいの森にある富谷ふれあい公園、富谷山公園を管理しております。参道の整備の可能性ですが、現在は新たな

答

教育長 市部活動の方針を策定し、適切な休養日や活動時間の上限等を設定する他、生徒の多様なニーズを踏まえた活動環境の整備や大会の見直しなどに取り組んでいます。

周辺整備の計画はありませんが、既存事業では、各行政区や子供会、また多くのボランティアの方々から花苗を提供した花いっぱい運動を推進しています。

今後、取組をさらに広げながら、地域に根差した緑化運動を進め、参道や市道等の環境を整備し、四季折々の景観を堪能できるように推進してまいります。

市の部活動改革について

問

国、県の改革方針を受け、市ではどのような対応を取ろうとしているか、今後の予定も含めて伺う。また、積極的に部活動に取り組んでいる保護者の意見を取り入れて頂きたいが如何か。

答

各課準備委員会の協議を基に、各学校、スポーツ関係団体、市文化関係団体等を加えた「地域部活動検討委員会」を設置・協議し、6年度以降、可能な種目から実施していく予定です。

地域移行は、指導者や練習場の確保、練習参加の交通機関、運営費、保険など課題も多く存在します。保護者の意見を十分取り入れ、市に合った形で移行ができるよう検討してまいります。

その他の質問
・ 人生応援住宅取得助成の状況
・ 今後の市のし尿処理のあり方

特産物プロモーション事業について



榎戸和也 議員

問

昨年度、地元農産品の宣伝用にお試し品を無料で配るとして市は約500万円の予算を計上し、米約5トン、1瓶1,400円の山桜はちみつ500本、米袋3,000枚などを市がクラセル桜川から購入した。1枚150円のこの米袋は何kg入りか。

答

経済部長 袋の規格は5kg入りです。

問

試供品の米にはA米穀店から買った約1,000袋の米もある。市が買ったこの1袋900円のは

答

米の容量は何kgか。

問

配るのはクラセルに頼んだとのことだが、どういうイベントでどれだけ配ってもらったのか。

答

経済部長 クラセル社に委ねているため、市はその内容を把握していません。

クラセル桜川の返礼品 米15kg

問

同社のふるさと納税返礼品について伺う。ふるさと納税で桜川市に1万円を納め、納税者が返礼品として同社の米を求めた場合、同社は5kgの米3袋、計15kgを送るとしている。

答

一方、返礼品についてはその上限額は納税額の3割以内でなければならぬというルールがあり、この15kgの米に対し市が同社に支払えるのは3,000円までとなる。

問

そこで伺う。クラセルの米の仕入れ先はどこか。またこの15kgの米の原価はいくらか。

答

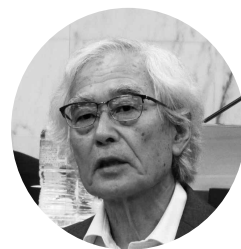
総合戦略部長 事業者の経営情報であるため、お答えできません。

問

農林課がクラセルから1kg260円で買っている米は1俵60kgで約1万4,000円となる。一方、クラセル社の返礼品の米は、15kgで3,000円を超えられず、1枚150円の袋代等も考慮すると9,000円以下での仕入となる。これは可能か。

答

総合戦略部長 事業者の企業努力によるものと考えています。



川股 隆 議員

指定管理者である図書館長等の市議会出席について

問

図書館長等は市議会への出席義務はない。当局に質問しても「指定管理者に伝えておきます」との回答で質疑が空洞化してしまう。参考人制度だけではなく、市議会に積極的に出席できるように、規則や協定で定めるべきではないか。

答

総務部長 地方自治法や市議会規則において定められています。

地域おこし協力隊について

問

得難い人材として、終了後、任

答

総合戦略部長 任期終了した隊員のうち、1名が定住していますが、定住率は全国の65%に対し、14%と低い状況です。今後、本人の意向を尊重しながら、必要な支援をきめ細かく行っていきます。

市職員による出前講座について

問

筑西市など近隣の三市は、職員が地域に出向く出前講座の制度がある。地域や職員の方の勉強、交流のためにも実施してはどうか。

答

市長公室長 他自治体の事例な

どを研究したうえで検討していきます。
消防団への寄附について

問

消防分団に対し、多くの区は1世帯1,500円から2,000円程度を寄附しているが、消防団は市の組織であり、特別職の公務員である。寄附を受けるのは公務員倫理上問題はないか。必要な経費ならば、当然にも公費を充てるべきではないか。

答

総務部長 金銭の渡しがあると推察しますが、詳細は把握していません。今後については、近隣市を参考に時間をかけて対応していきます。

答

副市長 横浜地裁の判決では、消防団本来の業務で受領すれば、違法の余地があるが、行政組織とは別の地域団体としてならば、倫理上問題はないと考えています。

審議された議案と結果 第3回定例会 (8月29日～9月8日)

令和4年度歳入歳出決算	
一般会計	認定
国民健康保険特別会計	認定
介護保険特別会計	認定
介護サービス事業特別会計	認定
後期高齢者医療特別会計	認定
水道事業会計	認定
病院事業会計	認定
下水道事業会計	認定
請願・陳情	
教職員定数改善と義務教育費国庫負担制度堅持のための政府予算に係る意見書採択を求める請願	採択
教育振興費の増額を求める陳情	不採択
議員提出議案	
教職員定数改善及び義務教育費国庫負担制度堅持に係る意見書	可決

専決処分	
一般会計補正予算(第3号)	承認
令和5年度補正予算	
一般会計(第4号)	可決
一般会計(第4号)の修正動議	否決
国民健康保険特別会計(第1号)	可決
介護保険特別会計(第2号)	可決
下水道事業会計(第1号)	可決
下水道事業会計(第1号)の修正動議	否決
人事・その他	
固定資産評価審査委員会委員の選任3件	同意
和解及び損害賠償の額を定めることの専決処分事項の報告3件	報告
市道路線の廃止	可決
市道路線の認定	可決

委員会視察研修レポート

総務 常任委員会

委員長 飯島洋省 副委員長 中田拓也
委員 林悦子・小林正紀・市村香・風野和視
視察日 令和5年6月28日(水)～6月30日(金)
出席委員 6名
視察先 北海道札幌市中央区・白石区・砂川市

複合庁舎建設の経緯と施設の概要

旧白石区役所は駅から離れた場所に位置しており、公共交通機関でのアクセスが不便といった課題があり、平成22年に移設建替えが決定されました。庁舎と地下鉄が繋がっており、駅の改札を抜けると直接庁舎に入ることができます。災害時には地域の防災拠点となり、札幌市の庁舎では初めて免振構造が採用されました。また、水害対策のため雨水槽や止水板が設置されており、非常用発電機による電源や貯水槽による飲料水等が確保された災害時に拠点となる庁舎となっています。庁舎内の図書館は、一

般の方が利用する区民センターの図書館と子育て世代が利用する絵本図書館の2種類に分かれており、区民センター図書館は小さな図書館ですが、アクセスが良いため、同規模の図書館に比べると群を抜いて利用者が多くなっています。絵本図書館は絵本専門の図書館となっており、声を出して絵本を読むことができる図書館で、子育て世帯にとっても人気がある図書館となっていました。研修で得たものを公共施設整備に役立てていきたいと思っています。

札幌市中央区では、図書館の運営について視察研修を行い、砂川市では新庁舎建設や議会エリアの概要について視察研修を行いました。



砂川市役所

委員会視察研修レポート

文教厚生 常任委員会

委員長 鈴木裕一 副委員長 菊池伸浩
委員 仁平実・萩原剛志・榎戸和也
視察日 令和5年6月28日(水)～6月30日(金)
出席委員 3名 欠席委員 2名
視察先 北海道江別市・白老町

ファミリーサポートセンター事業

江別市は札幌市のベッタウンとして核家族の転入が多いとのことで、学童等の送迎に関するニーズが依頼の約7割を占めていました。利用料金については、桜川市では1時間700円としていますが、江別市では30分単位で利用可能であり、料金も300円と使いやすくなっています。児童を預かる提供会員は桜川市では概ね70歳代で11人ですが、江別市では50歳代の提供会員が多く、70人が登録しており、増員に向けて年に3回の養成研修の実施に取り組んでいるとのことでした。啓発事業は赤ちゃん等

のサポート事業時、無料おためし券の配布、広報での啓発等を行っているとのことでした。

桜川市でのファミリーサポート事業は児童の預かりを主としているため利用実績が低く、送迎サービスについてはタクシー業界との兼ね合いと提供会員の年齢が概ね70歳代であること等から、運転業務は実施していないので、今後は地域の子育てする家庭のニーズを調査する等、より地域に合った子育て支援を進めていただきたいと思います。

白老町では、しらおい食育防災センターで施設建設の経緯や役割について視察研修を行いました。



しらおい食育防災センター

委員会視察研修レポート

建設経済 常任委員会

委員長 武井久司 副委員長 軽部 徹
委員 潮田新正・小高友徳・川股 隆

視察日 令和5年6月21日(水)～6月23日(金)
出席委員 5名
視察先 北海道北広島市・美瑛町・沼田町

有害鳥獣駆除、担い手の確保及び育成

沼田町では、有害鳥獣対策、担い手の確保及び育成について説明を受けました。沼田町の主な有害鳥獣はエゾシカ、ヒグマ、キツネ、タヌキ、アライグマ等で、被害の傾向は中山間地域を中心に稲作及び大豆、スイートコーン等の畑作等の食害や育苗が踏圧される被害が発生しているそうです。被害防止対策としては、銃、くくりわな及び箱わなによる捕獲と電牧柵による防護を中心に行っていました。その他、捕獲業務や防護業務について説明を受けました。今後、桜川市でも「ニホンジカ」や「キョン」

による被害が予想されるため、エゾシカ対策や地域の方を巻き込んだ有害鳥獣対策等、大変参考になりました。

担い手確保及び育成については「ぬまたアグリファーム」という担い手の確保・育成のために、新規就農希望者の研修から就農までを一貫支援することを目的として設立された組織について説明を受けました。

美瑛町では、6次産業化や農場の観光資源活用について熊谷ファームで視察研修を行い、北広島市では、ボールパーク構想について視察研修を行いました。

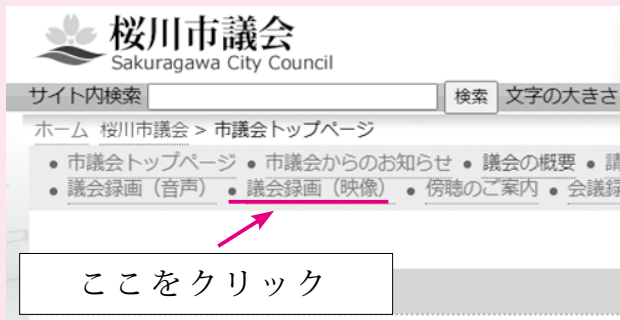


沼田町役場

市議会ホームページで 市議会の映像を視聴できます！

年4回(3・6・9・12月)の定例会や臨時会の議会映像は、市議会ホームページ(Youtube)で配信します。

市議会ホームページの【議会録画(映像)】から視聴できます。



『桜川市議会』で検索

委員会報告

桜川市議会議員は、全議員がいずれかの常任委員会に所属し、それぞれ所管の事案について審議しています。このページでは、その審議内容や各委員会の活動状況を報告します。

文

教厚生 常任委員会

今号は文教厚生
常任委員会に注目



◎鈴木裕一



○菊池伸浩



仁平 実



萩原剛志



榎戸和也

公立学校 ICT 支援業務委託

本業務は、GIGAスクール構想事業で購入したタブレット端末を、教職員及び児童生徒が学習活動の様々なシーンで活用できることを目指し、3名のICT支援員を学校に派遣するものです。引き続きタブレット端末の有効活用に努められるよう要望しました。

公立学校空調設備等整備事業

エアコンの導入と併せて断熱材を付けることでその効果は向上しますので、今後エアコン工事を行う際は、高騰が続く電気代の負担軽減のためにも断熱材を導入することを要望しました。

学校給食について

昨今、国内の電気・ガス・ガソリン等の価格が高騰しており、このような状況は学校給食の食材や調理の光熱費へも大きな影響を及ぼしており、今後も引き続きと思われま。

物価高騰により市の負担が大きくなっていますので、引き続き国や県の支援制度の活用にも努められますよう要望しました。

社会福祉協議会補助金

社会福祉協議会補助金及び認定こども園社会福祉協議会出向職員の人件費について、市からの補助金という性質上、適正な予算執行及び情報公開をしていただくよう、所管課より指導・監督を強化していただくことを要望しました。

予防総務事業

任意予防接種である帯状疱疹の予防接種に関する公費負担について、他市町村の導入状況をにらみ、早期に具体的な助成額や回数等、体制を整備するよう要望しました。

介護保険特別会計

今後高齢者割合の増加が見込まれますが、引き続き適正な介護保険給付が行われるよう要望しました。

総

務 常任委員会

委員長 飯島洋省 副委員長 中田拓也
委員 林 悦子・小林正紀・市村 香・風野和視

市税の公平性の確保

市税については、適正かつ公平な課税及び徴収を推進するとともに、自主財源の確保を図るため、収納率をさらに向上させるよう要望しました。

新庁舎建設事業

物価高騰が引き続き中、経済状況が劇的に変化した場合、見直しを行うよう要望しました。そういった状況を避けるためにも社会状況を慎重に考慮し、早期に事業を進行させることを要望しました。

ふるさと応援寄附金事業

ふるさと応援寄附金は、子育てや教育、産業振興など、寄附目的に応じて市の事業で活用できる有効な財源です。今後もプロモーション活動や事業者との連携を深め、さらなる事業の拡大を図るよう要望しました。

地域商社支援事業

市が株式会社クラセル桜川に対して、経営状況の根本的な改善が必要との判断から、業務の改善命令を通知しています。それによりクラセル桜川は組織の運営体制を見直すなど、経営健全化に向けた取り組みを行い、昨年度まで続いた赤字経営を黒字へ転換を果たし、現在も市が策定した「第三セクター等経営健全化方針」を踏まえた経営改善に努めているとの説明がありました。

今後も経営改善を図り、安定的な経営となるよう要望しました。

消防団の報酬について

消防団の報酬については、地域防災力維持のため、報酬額の増加及び緊急時の処遇改善を検討するよう要望しました。

建

設経済 常任委員会

委員長 武井久司 副委員長 軽部 徹
委員 潮田新正・小高友徳・川股 隆

農業委員会

農業委員会については、引き続き関係機関と連携し、適切な事務の執行と、新規就農者の獲得と、耕作放棄地の発生を防ぐため、さらなる農地利用最適化推進活動を要望しました。

農業品プロモーション活動

農業品プロモーション活動については、桜川市のおいしい農作物を多くの方々に知っていただけるチャンスですので、活動内容及び配布内容の確認方法を検討したうえで、今後も継続して実施していただくことを要望しました。

桃山学園通学路整備事業

現在、主要地方道石岡筑西線や源法寺橋から桃山学園までの区間を整備していますが、令和7年4月の桜川中学校・樺穂小学校・谷貝小学校と桃山学

園の統合に合わせて、全路線を令和6年度末に供用開始するよう要望しました。

住宅定住助成金

さくらがわ人生応援プロジェクトのひとつとして、新婚世帯や子育て等を応援し、桜川市への移住定住を支援する重要な事業ですが、今後は助成額の増額を含めた更なる予算拡充を検討していくよう要望しました。

水道事業

水道事業については、安全で信頼性のある水道水の供給を維持するために、漏水箇所の早期発見や修繕に努力することを要望しました。

また、水道事業の経営環境が厳しい中でも、収益率の向上を図るために、予算の効率的な運用に取り組み、経費削減にも尽力することを要望しました。

私のメッセージ



大関隆司さん
桜川市青木

協力と助け合い

朝早く、すがすがしい空気の中、スイカ・メロン・オクラなどの育ちを楽しみしながら畑に向かいます。

スイカを食べる家族の風景、料理をする人の思いを浮かべながら収穫をします。畑仕事が終われば、稲の生育状況を観察することが日課です。

高校の教師として三十年勤務し、定年退職後、農業大学校に三年勤め、その後農業に従事し十年になります。

青木地区では、環境保全として、農家でない人も参加して草刈りを行っています。

また、堰や水田の用水機場の管理当番など話し合いながら行っています。

年ごとにイノシシの被害が多く困っていました。地区の人々が何回

も会議を重ねた結果、桜川市から援助をいただき、四・二キロメートルのイノシシ防護柵を設置するようになりました。大勢の人々が参加して、

三ヶ月をかけて作り上げました。その後の被害はほとんどなくなりました。

青木地区では、ヤマザクラの里山づくりを地区の会議で相談してまいりました。桜川市からヤマザクラの苗や資材の提供があり、共有林三ヘクタールにヤマザクラの苗木を中心にカエデなどを植樹しました。また、散策道の整備や下刈りなどの管理作業を行っています。

人口減少や高齢化社会を迎えた今、豊かな地域社会をつくるためには、お互いに協力し合い、助け合う心の大切さを感じているところです。

編集後記

今年は雨が少なく、35℃を超える猛暑日が多い記録的な暑さの夏になりました。農作物等にも大きな影響がありました。

そんな中、4年振りに真壁祇園祭や納涼大会が無事に開催されました。多くの皆様にご協力をいただき、盛大に開催されたことは大変良かったと感じています。

しかし、5類感染症となったコロナウイルスだけでなく、例年は冬場に

流行るはずのインフルエンザが流行する兆しが表れております。これから気温が下がり、乾燥してきますので、体調を崩さぬよう予防に気を付けて参りましょう。

さて今議会では、令和4年度の決算について審議が行われました。市民の皆様の生活をお支える各種政策をしっかりと検証し、来年度へ向けた予算づくりに活かして参ります。

中田 拓也

議会日誌

8月

- 9日 総務常任委員会・議会全員協議会
- 22日 茨城県後期高齢者医療広域連合議会定例会
- 23日 筑北環境衛生組合議会定例会
- 24日 総務常任委員会・文教厚生常任委員会・建設経済常任委員会
- 25日 議会運営委員会・議会全員協議会
- 29日～9月8日 第3回定例会

9月

- 4日 3合同常任委員会
- 5日 文教厚生常任委員会・建設経済常任委員会
- 6日 総務常任委員会

10月

- 11日 議会広報特別委員会
- 27日 筑西広域市町村圏事務組合議会議会運営委員会
- 31日 筑西広域市町村圏事務組合議会定例会

議会広報特別委員会

- 委員長 菊池伸浩 副委員長 武井久司
- 委員 市村 香・飯島洋省
軽部 徹・中田拓也
- 発行責任者 議長 萩原剛志

次の定例会は

12月5日(火)

**10時開会予定です。
みなさまの傍聴をお待ちしています。**